

~~~~~  
10年後の中野を描くメールマガジン 第15号  
~~~~~

発行日：2004年9月28日（火）
発行：中野区区長室基本構想担当
〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1
電話03-3228-5572

☆メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ
→seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

☆メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ
→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magagine.html>

☆現在の中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ
→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

◆もくじ◆

- ◆「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 4）
- ◆基本構想等意見交換会について
- ◆編集後記

◆「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 4）◆

区は、区職員プロジェクトチームの提案書、区民ワークショップ提案書及びこれらをもとに審議され、4月に中野区長に提出された基本構想審議会答申を受けて、区民の皆さんとの意見交換会（5月、7月に開催）や町会・自治会、青少年育成団体との意見交換等を参考に「新しい基本構想」と「新しい中野をつくる10か年計画」の検討を進めています。
最新の検討内容について、「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 4）として資料にまとめました。

検討素材（NO. 4）は、次の5つの資料で構成されています。

- ▼表紙（検討素材NO. 4の構成、経緯、今後のスケジュール）
- ▼中野区基本構想【第1稿】資料1
- ▼10か年の行財政運営の考え方 資料2
- ▼10か年の人口推移 資料3
- ▼基本構想の領域（10年後に実現するまちの姿）に対応した区の施策と事業展開（主なもの）資料4

資料1は「基本構想」について、資料2から資料4は「新しい中野をつくる10か年計画」についての資料になります。

1. 基本構想について

▼中野区基本構想【第1稿】資料1
基本構想の全文案をお示しします。検討素材NO. 3の基本構想の構成案を加除・修正し、文章化したものです。「新たな時代に向けて」「中野のまちの基本理念」「中野のまちの将来像」「10年後に実現するまちの姿」「将来像の実現をめざして」の5章立てになっています。

○第1章「新たな時代に向けて」
新しい基本構想を策定する背景、基本構想と10か年計画の位置づけについて記述しています。

○第2章「中野のまちの基本理念」

「生かされる個性 発揮される力」をテーマに共有する理念を「区民憲章」として明らかにしています。

○第3章「中野のまちの将来像」

将来の都市像を「多彩なまちの魅力と支えあう区民の力」のあるまちとして描いています。これまで築いてきた歴史と個性を受け継ぐと同時に「住宅都市」としてだけでなく、多くの人々がこのまちを訪れ、幅広い活動を展開する、そんな魅力あるまちの姿を4つの領域に分けて、具体的に記しています。

<第1の領域>

～「持続可能な活力あるまちづくり」～（まちづくり、環境、地域産業の領域）

【将来像の例】利便性の高い立地条件とさまざまな人材を活かした、新しい都市型の産業が発展しています。など

<第2の領域>

～「自立してともに成長する人づくり」～（教育、子育て、人権、男女平等などの領域）

【将来像の例】子育て支援などの環境が整い、子育て世代が住み続けられるようになっています。など

<第3の領域>

～「支えあい安心して暮らせるまち」～（保健・健康、福祉、地域活動などの領域）

【将来像の例】高齢者や障害者をはじめとして、区民一人ひとりが、自立に向けた努力を行うとともに、さまざまなサービスの中から自分にあったものをみずからの意思により選択して、日常生活を豊かに過ごしています。など

<第4の領域>

～「区民が発想し、区民が選択する新しい自治」～（参加・自治、公共サービス、行財政運営などの領域）

【将来像の例】区民が必要な情報は、みずからが情報収集でき、それを利用して生活に役立てたり、区政に対して意見や提案を行ったりするなど、区民が政策決定過程に参画しています。など

○第4章「10年後に実現するまちの姿」

向こう10年間で到達する将来の姿を、第3章と同様に4つの領域に分けて具体的に描きます。また、めざす姿への到達状況を検証するために「指標」を設けています。

<第1の領域>

～「持続可能な活力あるまちづくり」～（まちづくり、環境、地域産業の領域）

【10年後の姿の例】中野駅周辺は、区内随一のにぎわいの中心として、住宅や商業、学校などさまざまな施設が複合的に誘導され、広域避難場所としての機能とみどり豊かな空間を備えた、快適で魅力ある新しい拠点となっています。同時に・・・など

【指標例】●景観やまち並みに満足している区民の割合
●緑被率（空から見たときに区の全面積に占めるみどりの割合）
●不燃化率（各丁目の建設面積に対する耐火造と準耐火造建築物の建築面積の割合）など

<第2の領域>

～「自立してともに成長する人づくり」～（教育、子育て、人権、男女平等などの領域）

【10年後の姿の例】保育園や幼稚園など乳幼児のための施設の連携や一元化が進み、子どもにとって質の高いサービスが提供されています。

【指標例】●認可保育園の待機児率

●不登校児等の割合 など

<第3の領域>

～「支えあい安心して暮らせるまち」～（保健・健康、福祉、地域活動などの領域）

【10年後の姿の例】高齢者や障害者が、就労や地域活動を通じて社会に参加し、さまざまな交流や活動にかかわることで、いきいきと暮らしています。など

- 【指標例】
- 65歳から74歳までの前期高齢者の「要介護・要支援」の認定率
 - この一年間で地域活動やボランティア活動に参加した65歳以上の区民の割合
 - 生活の悩みや不安を相談できる相手（人または機関）がある区民の割合 など

<第4の領域>

「区民が発想し、区民が選択する新しい自治」（参加・自治、公共サービス、行財政運営などの領域）

【10年後の姿の例】区民は、必要な情報を情報通信技術をはじめとする多様な方法で、速やかに入手できるようになっています。など

- 【指標例】
- 区民の意見や要望などが区政に反映されていると思う区民の割合
 - 区内のNPO法人認証数（年間新規団体数、合計数）など

○第5章「将来像の実現をめざして」

基本構想に基づいて、区はあらゆる仕事を進めていくことと行財政運営の基本原則（6項目）について記述しています。

2. 新しい中野をつくる10か年計画について

10か年計画の検討内容について、次の3つの資料をお示しします。

▼10か年の行財政運営の考え方 資料2

▼今後10年間の人口推移 資料3

▼新しい基本構想で描く領域（10年後に実現するまちの姿）に対応した主な区の施策と事業展開 資料4

▼10か年の行財政運営の考え方 資料2

●行政運営の考え方

透明性・公正性の確保、目標と成果による管理、権限委譲と組織の簡素化、職員の意識改革と人材育成、計画的な定数管理の5項目を掲げています。

●財政の状況

歳入・歳出の現況を記しています。一般財源、基金、特別区債の推移などと厳しい現況を示しています。

●持続可能な財政運営（安定的な財政運営のために）

現況を改善し、持続可能な財政運営とするために、歳入・歳出の見込み、景気変動への対策、将来負担への対策、計画的な施策の実施、事務経費の削減、義務的経費の削減について記しています。

▼今後10年間の人口推移 資料3

10年後の中野区の総人口は、平成16年（2004）年比で約1.9%の減となると見込んでいます。人口構成比では65歳以上が更に増え、生産年齢人口（15歳から64歳）が減っていくと推計しています。

▼新しい基本構想で描く領域（10年後に実現するまちの姿）に対応した主な区の施策と事業展開 資料4

基本構想で描く「10年後に実現するまちの姿」を実現するために、現段階で想定される、10年間で取り組む区の施策と事業展開（主なもの）を基本構想の領域ごとに示しています。

この内容は、区民の皆さんのご意見や財政状況の見通しを踏まえ、加除・修正していく予定です。

☆「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 4）については、10月・11月に実施する意見交換会会場で当日配付するほか、地域センターでもお配りしています。また、図書館、区役所1階区政資料センター及び区ホームページ上のPDFファイル（9月29日からアップ）でもご覧いただけます。

検討素材NO. 1からNO. 3についてもあわせてご覧いただけます。

→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

◆基本構想等意見交換会概要◆

1. 10月・11月の基本構想等意見交換会

最新の検討内容である「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材（NO. 4）について、意見交換会を次のとおり開催します。ぜひご参加いただき、皆さんのご意見をお聞かせください。

◎基本構想意見交換会日程（10月・11月）※各回全て2時間

- ★10月25日（月）午後2時から大和地域センター
- ★10月25日（月）午後7時から弥生地域センター
- ★10月27日（水）午後3時から桃園地域センター
- ★10月27日（水）午後7時から東中野地域センター
- ★10月28日（木）午後7時から野方地域センター
- ★10月29日（金）午後2時から鷺宮地域センター
- ★10月29日（金）午後7時から江古田地域センター
- ★10月30日（土）午後2時から中野区役所
- ★11月1日（月）午後7時から上高田地域センター
- ★11月2日（火）午後7時から上鷺宮地域センター
- ★11月4日（木）午後2時から東部地域センター
- ★11月4日（木）午後7時から昭和地域センター
- ★11月5日（金）午後7時から鍋横地域センター
- ★11月8日（月）午後2時から南中野地域センター
- ★11月8日（月）午後7時から沼袋地域センター
- ★11月9日（火）午後7時から新井地域センター

☆詳細等については、区ホームページ（9月29日からアップ）をご覧ください。

→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

～基本構想の策定に向けて～

意見交換会をはじめとした皆さんからお寄せいただいたご意見等を参考に検討を重ね、12月中旬までに新しい基本構想の素案をまとめ、公表します。素案について説明会を開催し、皆さんのご意見をお聞きしたうえで区案を作成します。来年2月に区議会で提案する予定です。

「新しい中野をつくる10か年計画」は、基本構想が策定された後、策定作業を進めていきます。

2. 7月に開催した基本構想意見交換会の内容

開催回数は全16回。会場は全地域センター及び商工会館。延317人のご参加をいただきました(^!^)

◎検討素材（NO. 3）について、皆さんからいただいたご意見と区の見解を一部ご紹介します。

<全般>

Q. 今、なぜこのような基本構想が必要なのか。

A. これまでのしくみ、あり方、財政運営のあり方では区がやってきたサービスの質、量を確保できなくなってきている。持続可能な地域社会を考えると、あり方、しくみを変えていかなければならないと考えている。

<中野のまちの将来像について>

Q. 地球温暖化が住みにくくしているのではないか。区としては限界があるのかもしれないが、何とかしなくてはいけないのではないか。

A. 地球環境については、区民憲章では述べているが、具体策がないというのはそのとおり。やることも限られるかもしれないが、どういう方法がいいのか考えていきたい。

<主なものさしの候補>

Q. 指標については、10年後をめざすのならば、今ある指標ばかりでなく新しい指標も入れるべきではないか。

A. 新しい指標についても検討していきたい。

<新しい中野をつくる10か年計画検討案について>

Q. 10か年計画の優先順位は区民にわかりやすく提示してほしい。

A. 計画の優先順位については、前期5年を実施計画として各年次の事業を示し後期5年は推進計画として年次を示さないものとする考えである。優先するものは前期に入れたい。

<施設配置の新しい展開について>

Q. 小・中学校の統廃合にあたっては、避難所、防災の事も考えて進めてほしい。

A. 再編については教育委員会がおこなうが、防災の事も含めて総合的に検討している。

<その他>

Q. 資料を意見交換会の場でもらって、すぐ意見をいうのは難しい。意見交換会の前に資料をもらいたい。

A. 今回から事前に地域センターで入手できるようにしたが、PR不足で申し訳なかった。次回の検討素材NO. 4については、事前配布及びその周知にも配慮したい。ご意見はこの場でのみお受けするものではない。手紙や電話、メールにてご意見をいただければと思う。また、各団体との意見交換会も随時おこなっている。そういった場を通じてご意見いただければとも考えている。

☆詳細については、図書館、区役所1階区政資料センター及び区ホームページ上<7月に開催した区民と区長の対話集会・意見交換会の内容>のPDFファイル（9月29日からアップ）でご覧いただけます。

→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/kihonkousou2003.html>

このほかにも手紙やメールにてご意見をいただいております(^)

◆編集後記◆

真夏日の観測日数（年間）新記録！

野菜などの作物は豊作との事。この数日は、ようやく秋を感じられる涼しさとなりましたが、長い”残暑”に体調をくずされたりしていませんか。

合併問題に端を発したプロ野球界再編をめぐる騒動について、さまざまな議論がなされていますが、「将来のプロ野球のためにはどうあるべきか」という視点で語られることが多いということに異論はないと思います。

23日の記者会見でプロ野球選手会会長が「今はまだスタート地点。ファンに愛される球界にしたい。厳しい目で優しく見守ってほしい」と顔を紅潮させてコメ

ントしていました。

われわれも「中野区の将来」を見据え、今、基本構想を策定しようとしています。
『厳しい目で優しく』中野区政を見つめ、プロ野球界に負けない、熱く、そして
実のある議論を重ねて、新しい基本構想をつくっていきましょうv(^ ^)v

◇次号は・・・

「意見交換会でのご意見紹介」を中心に、11月中旬に配信する予定です。

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。

→seisakukeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

「10年後の中野を描くメールマガジンナンバー」メインページへは「戻る」
キーにてお戻りください。